

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-502770 (P2005-502770A)

【公表日】平成 17 年 1 月 27 日 (2005.1.27)

【年通号数】公開・登録公報 2005-004

【出願番号】特願 2003-527046 (P2003-527046)

【国際特許分類】

C 1 1 D 7/30 (2006.01)

B 0 8 B 3/08 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

C 0 9 K 5/04 (2006.01)

C 1 1 D 7/28 (2006.01)

C 1 1 D 7/50 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 7/30

B 0 8 B 3/08 Z

C 0 9 D 201/00

C 0 9 K 3/00 1 1 1 B

C 0 9 K 5/04

C 1 1 D 7/28

C 1 1 D 7/50

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタン、および

(b) フルオロ化ケトン、

を含む共沸様組成物であって、

前記組成物が：

(i) 本質的に約 12.5 ~ 約 99.0 重量パーセントの 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約 1.0 ~ 約 87.5 重量パーセントの $C_2F_5C(O)CF(CF_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物、

(ii) 本質的に約 61.0 ~ 約 99.0 重量パーセントの 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約 1.0 ~ 約 39.0 重量パーセントの $(CF_3)_2CFC(O)CF(CF_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物、

(iii) 本質的に約 73.5 ~ 約 99.0 重量パーセントの 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約 1.0 ~ 約 26.5 重量パーセントの $CF_3CF_2CF_2C(O)CF(CF_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物、

(iv) 本質的に約 12.5 ~ 約 95.0 重量パーセントの 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約 5.0 ~ 約 87.5 重量パーセントの $C_2F_5C(O)CF(CF_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物、

$\text{CF}_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物、

(v) 本質的に約 61.0 ~ 約 95.0 重量パーセントの 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約 5.0 ~ 約 39.0 重量パーセントの $(\text{CF}_3)_2\text{CFCH}(\text{O})\text{CF}(\text{CF}_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物、および

(vi) 本質的に約 73.5 ~ 約 95.0 重量パーセントの 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約 5.0 ~ 約 26.5 重量パーセントの $\text{CF}_3\text{CF}_2\text{CF}_2\text{CH}(\text{O})\text{CF}(\text{CF}_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物；

からなる群より選択され、

前記組成物が密閉式引火点を有さない、共沸様組成物。

【請求項 2】

本質的に：

(a) 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタン、および

(b) フルオロ化ケトン、

からなる共沸組成物であって、

前記組成物が：

(i) 本質的に約 48.3 重量パーセントの 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約 51.7 重量パーセントの $\text{C}_2\text{F}_5\text{CH}(\text{O})\text{CF}(\text{CF}_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 35.4 で沸騰する、組成物、

(ii) 本質的に約 79.0 重量パーセントの 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約 21.0 重量パーセントの $(\text{CF}_3)_2\text{CFCH}(\text{O})\text{CF}(\text{CF}_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 39.6 で沸騰する、組成物、および

(iii) 本質的に約 86.7 重量パーセントの 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約 13.3 重量パーセントの $\text{CF}_3\text{CF}_2\text{CF}_2\text{CH}(\text{O})\text{CF}(\text{CF}_3)_2$ とからなり、約 760 トルにおいて約 39.9 で沸騰する、組成物、からなる群より選択される、共沸組成物。